

令和7年度小学校教科担任制実施報告書(高学年型)

学校名
三次市立八次小学校

1 学校の概要

(1) 学校の学級数

学級数	通常学級							特別支援学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
	2	3	3	3	3	3	17	2	19

2 加配教員が専科指導を行う教科及び週当たりの担当授業時数

(1) 第5、6学年の指定教科

指導教科名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
理科	5	3	3	9	
外国語	5	3	2	6	
理科	6	3	3	9	

授業時数 計 24 (a)

(2) その他

指導教科等名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
				0	

授業時数 計 0 (b)

授業時数 合計 24 (a)+(b)

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

【前期】

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	2	1	2	1
6年 A組 (担任: A)	A	専科	A	A	推進	C	専科	専科	B	B	A	A	A
6年 B組 (担任: B)	B	専科	A	B	推進	C	専科	専科	B	B	B	B	B
6年 C組 (担任: C)	C	専科	A	C	推進	C	専科	専科	C	B	C	C	C

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	2	1	2	1
5年 A組 (担任: D)	D	専科	D	D	推進	専科	E	専科	F	推進	D	D	D
5年 B組 (担任: E)	E	E	D	E	推進	E	E	専科	E	推進	E	E	E
5年 C組 (担任: F)	F	専科	D	F	推進	F	F	専科	F	推進	F	F	F

【後期】

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	2	1	2	1
6年 A組 (担任: A)	A	専科	A	A	推進	C	専科	専科	C	B	A	A	A
6年 B組 (担任: B)	B	専科	A	B	推進	C	専科	専科	B	B	B	B	B
6年 C組 (担任: C)	C	専科	A	C	推進	C	専科	専科	C	B	C	C	C

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	2	1	2	1
5年 A組 (担任: D)	D	専科	D	D	推進	専科	E	専科	F	推進	D	D	D
5年 B組 (担任: E)	E	E	D	E	推進	E	E	専科	E	推進	E	E	E
5年 C組 (担任: F)	F	専科	D	F	推進	F	F	専科	F	推進	F	F	F

4 高学年担任が指導を行う教科等及び過当たり授業時数

【前期】

学年・学級	児童数(人)	担任	担任する学級以外の授業時数(過当たり)				担任する学級の授業時数 (d)	授業時数の合計 (c)+(d)
			指導学年・学級	教科等名	時数	時数計(c)		
6-A	29	A	6-B	社会	3	6	16	22
			6-C	社会	3			
6-B	28	B	6-A	外国語	2	6.6	17.6	24.2
			6-C	外国語	2			
			6-A	体育	2.6			
6-C	29	C	6-A	音楽	1.4	2.8	17	19.8
			6-B	音楽	1.4			
5-A	26	D	5-B	社会	2.9	5.8	15.9	21.7
			5-C	社会	2.9			
5-B	24	E	5-A	図工	1.4	1.4	19.4	20.8
5-C	26	F	5-A	体育	2.6	2.6	18.4	21

【後期】

学年・学級	児童数(人)	担任	担任する学級以外の授業時数(過当たり)				担任する学級の授業時数 (d)	授業時数の合計 (c)+(d)
			指導学年・学級	教科等名	時数	時数計(c)		
6-A	29	A	6-B	社会	3	6	16	22
			6-C	社会	3			
6-B	28	B	6-A	外国語	2	4	17.6	21.6
			6-C	外国語	2			
6-C	29	C	6-A	音楽	1.4	5.4	17	22.4
			6-B	音楽	1.4			
			6-A	体育	2.6			
5-A	27	D	5-B	社会	2.9	5.8	15.9	21.7
			5-C	社会	2.9			
5-B	24	E	5-A	図工	1.4	1.4	19.4	20.8
5-C	26	F	5-A	体育	2.6	2.6	18.4	21

5 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

〈効果のあった取組〉
<p>① ○準備時間を必要とする理科の指導に専門性をもつ教科担任制推進教員を配置し、学級担任と連携して指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラウド環境を活用した指導方法の交流 ・家庭学習の取組の連携
<p>① ○担任との関係性に悩む児童に対しては、複数の教員が関わり指導した。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を日常的に交流し、実態把握に努めた。 ・必要に応じて指導のラインを話し合い、組織的な生徒指導に取り組んだ。



〈成果〉
<p>① ○基礎学力が向上した。</p> <p>【単元末テスト正答率70%以上の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生 84.4% ・6年生 79.5% <p>○中学校でのICT活用の実態を踏まえ、汎用的ソフトウェアを児童に活用させる取組が進んでいる。</p>
<p>① ○生徒指導上の諸問題の未然防止を進め、積極的な生徒指導を推進することができた。</p> <p>②</p> <p>【令和7年度i-check「学校の規則やクラスで話し合って決めたことを守っていますか」という質問に肯定的に答えた児童の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生 73.2% ・6年生 81.0% <p>○学習意欲を喚起させ、学力定着の一助となった。</p> <p>【令和8年1月実施児童アンケートにおいて「教科担任制の授業が楽しみ」と肯定的に答えた児童の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体 86.7%

- ① ○多様な指導方法等、指導者のよさを
- ② 生かすことにより、指導経験が浅い担任
- ④ の学習指導上および学級経営上の支援を行った。

・学級経営の進め方や学習指導の仕方について、日常的に交流したり検討したりした。

- ③ ○児童が学級担任外の教員と関わる時間を増やした。
- ・学級担任外の教員が児童と関わる時間を増やすよう、専科教員の学年行事等への参加を計画的に行った。

〈課題〉

- ① 経験年数の浅い教諭は、担当しない教科の指導について不安を覚えている。

- ① ○特に指導経験の浅い教職員が、多様な
- ② 指導方法や学級経営の進め方を学び、実
- ④ 践に生かすことができた。

【B教諭(教職4年目)のコメント】

初めて担当する教科の授業づくりや教材研究のしかた、ALTとの関わり方について、先輩から指導をいただいたことで、計画的に余裕をもって授業をすることができた。担任する学級の児童について、担任外の授業の様子を交流することができたため、授業中の態度や学級全体の雰囲気づくりにつなげていくことができた。担任だけでなく、学年・学校全体で児童を指導していく意識が生まれたため、安心して学級経営に取り組むことができた。教科担任制のおかげで担当する教科の教材研究に充てる時間が増えた。そのため、具体的な発問や板書をじっくり考える時間が増えた。

【E教諭(教職1年目)のコメント】

色々な先生に自分のクラスに関わってもらっているので、日常的にクラスの様子について相談することができた。学級の児童について、自分一人では指導が難しいことをサポートしてもらえた。授業の進め方や児童との接し方、対応のしかたなど、自分だけでは見えない児童の様子などを交流を通して知ることができた。

- ③ ○複数の教職員が様々な場面で児童に関わることで、中学校の指導形態に関する不安を軽減することができた。
- 【令和8年1月実施児童アンケートにおいて「中学校から教科ごとに先生が代わることに不安がなくなりました。」と肯定的に答えた児童の割合】
- ・全体 83.8%

〈対策〉

- ① 自分の担当していない教科の授業を見たり、共に指導したりする機会を設けている。